

授業概要

本授業は講義の授業形態で行います。アメリカやヨーロッパはもちろん、現在、日本においてもスポーツマネジメントが浸透しつつある世の中になっています。また、現在はあらゆる方面からスポーツサービスが提供され、スポーツで利益を上げることが目的とする企業や組織が増加しています。そんな、スポーツ企業・祖組織に着目し、事例に触れながらスポーツ企業の経営について学んでいく。

授業計画

第 1 回	ガイダンス・スポーツマネジメントの復習
第 2 回	欧米のスポーツビジネス（アメリカ 4 大リーグ、ヨーロッパのサッカーリーグとクラブ）
第 3 回	欧米リーグ構造の特徴と諸外国のリーグ
第 4 回	日本のプロスポーツの経営①野球・サッカー
第 5 回	日本のプロスポーツの経営②バスケットボール・ラグビー
第 6 回	日本のプロスポーツの経営③個人競技のスポーツビジネス
第 7 回	スポーツビジネスを取り巻く 3 つのミッション、逆台形モデル
第 8 回	スポーツメディア①（テレビ、ネット映像ビジネス）
第 9 回	スポーツメディア②（スポーツと SNS、スポンサー）
第 10 回	スポーツメーカー
第 11 回	スタジアム・アリーナ
第 12 回	スポーツライフとフィットネス産業
第 13 回	国とスポーツ
第 14 回	新たなスポーツ企業経営（トレンド）
第 15 回	まとめ
第 16 回	学期末試験（筆記試験）

到達目標

本授業は、以下の 2 点を到達目標としています。

- ① スポーツ企業の経営活動に関する知識、基本的な用語の意味、理論を理解できる
- ② スポーツ企業の経営活動について基本的な用語や知識、理論を用いて説明できる。

履修上の注意

- ・本授業は、スポーツ企業・組織の経営を中心とした内容となります。そのため、スポーツマネジメント論の単位を取得していることが望ましい。理解を深めるために、授業内でグループワーク等することがあります。また、必要に応じて PC 等のデバイスを使用することがある。
- ・単位の認定には、授業の総出席が試験を除き、2/3 以上を必要とする。開始 20 分以降の入室は欠席扱いとする。遅刻、早退は 3 回をもって欠席 1 回分に換算する。

予習・復習

予習：授業計画に記載してあるテーマを基に事前学習をすること。わからなかった部分を把握しておいてください。

復習：事前学習に加え、授業で配布した資料を参考に重要な箇所を必ず理解できるよう振り返り学習を行ってください。

評価方法

- ・学期末試験 60%、毎時間授業要約レポート 30%、受講態度 10%で総合的に評価をする。

テキスト

授業ごとに資料を配布するためテキストの購入はない。参考文献は必要に応じて授業内で提示する。スポーツマーケティングについて詳しく勉強したい場合は、参考図書を教えます。